



みずほの丘の希望

令和7年 11月 04日

第12号

生徒数/393名

文責/堀川博基

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6

TEL/049-252-4145

FAX/049-255-0233

残念ながら保護者の
方々は参観できません

最優秀賞3学
級は11/11
の市内合唱祭
に参加します。

「激しい変化が止まることのない時代…」

一生走り続けないと
社会の変化に

追いついて行けないと
定義されているこの時代に
君たちはどう生きる…?

「激しい変化が止まることのない時代…」令和6年12月25日中央教育審議会諮問『初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について』において、子供たちを取り巻くこれからの社会を「少子化・高齢化、グローバル情勢の混乱、生成AI等デジタル技術の発展等、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高まっており、『子供たちは、激しい変化が止まることのない時代』を生きることになる。…」と明確に定義されている。この様な状況が想定される社会を今後数十年生き抜いていかななくてはならない子供

♪ キラリにて… ♪
「兵どもが夢の跡」
2025.10.23合唱コンクール
西中生諸君…思いっきり楽しんでくれましたか…😊

実行委員のみなさん…準備から片付けまで、しっかりと責任を果たしてくれました…ありがとう

たちに「憂い」や「憂慮」等の「危惧」を感じてしまうのは私だけであらうか…。

この諮問を受け、現在、中教審では次期学習指導要領の改訂に向け、様々な議論が進められている。正式に公表されるのは次年度になるので、まだ確実ではないが、教育理念も方策もラジカルな改革が進められるようだ…。諮問の論点による■更なる「質の高い深い学び」からは、ICTやAI活用等が焦点化され、デジタル学習基盤を前提とした資質・能力を子供たちに育むことが最低限の基礎となる。中学校では「技術・家庭」「情報技術」と「家庭」という、別々の2教科となり、情報の指導が強化される。タブレットは教科書やノート等に代わる学びの必需品となることはほぼ間違いない。質の高い学びを深めるために評価も変わる。評価は生徒の学習や教員の指導の改善に役立てる観点に重きを置かれ…例えば「通知表の廃止」「数量的評価の改善」「年に1回程度の評価」等が展開される可能性が高い。必ずしもこれと接続している訳ではないが、定期テストの回数を減らしている(1学期の中間テスト廃止、定期テストは学期1回等)学校は近隣でも多くなっている…。また■多様性への対応の波及でもある「多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程」では、「子供による学びの自己調整」「子供たちが輝く柔軟な教育課程」「ひとつの教育課程では対応が難しい子供の包摂」と示され、これを実現するための環境整理として「高校の諸制度の改善」が進められる。…「自己調整」「柔軟な教育課程」「対応が難しい子供の包摂」というキーワードから、勝手に想像するのは…不登校、地域差、外国人、生まれ、性別、貧困、多様な特性等すべての個性や違いを持つ子供たちを一人も置き去りにすることなく平等に、公平に指導するということだ。理念としては賛成であるが…40年間教壇に立ってきた私には、簡単に想像できない世界でもある…。「出席生徒と欠席生徒がともに活きる教育課程…」「自分で自分自身の学びや方法、そののみで…時間までも考え調整する」「100人の生徒に100通りの学び…」いくらAIが発達したとしても、学校が学校として機能するのであろうか…今の学校という、生徒が一斉に登校し、同じ教室で勉強し、給食を食べ、部活動をし、友だちと下校する…。このような学校の日常風景は多分日常ではなくなるのであろう…多様の包摂は今までの学校概念を激変させるものとなるかもしれない。包摂を更に現実的なものとするために、高校の制度改革も加速度的に進む…学科の再編、通信制の拡大、統廃合、入試制度改革…、多様性を大切に高校の在り方や入試制度を根本から改善することは理解できる。しかし一方で大学入試は年内入試の学力試験を解禁した。高校入試においても調査書の簡素化等いわゆる内申の比重が更に軽くなりそうな予感が…、私見ではあるが現実的に「学力偏重の傾向?」とも捉えられても不思議ではない状況もある。…「激しい変化が止まることのない時代」を生き抜くための力を子供たちにはぐくむために、国も、県も、市も、学校も、地域も、家庭も、子供に軸足を置き考えなくてはならない…少し

さて、時の経つのは早いもので…

12/1に今年度の学校評価が配付される。もちろんご自身のお子様の様子を鑑み、率直に評価を投げてほしい。学校側はしっかりと受けとめ、次年度からの西中教育に直近の方策として反映させたい。また、それと同時に未来を生きる子供たちのために中長期的視点に立ちご意見をお願いしたい。□定期テストは必要ない? □通知表は要らない? □学力向上に直結した授業を? □行事を削減してほしい? □流行に迎合せず不易を大切にしたい? □もっとICTを活用して? □部活動は必要だ? いや必要ない? □今の西中の校風を堅守してほしい? …様々な考えや意見があっても学校教育は活性化する。今年度は12/24までメスを伸ばしている。じっくりと考え子供の未来を見据えたご意見をいただければ幸いです…。もちろん西中の課題、改善点等をどんどん書き連ねてほしい。そして、余裕があれば…西中の「よいところ」「更に伸ばしてほしいところ」「職員への励まし」等、肯定的な評価(私はたくさんあると思っている)も記してほしい。西中は今年度46年目を迎えている…次の50年…いや100年に向けて今の西中を評価してもらいたい。次期学習指導要領は2031年度より完全実施(中学校)となる…。学校評価へのご協力、よろしくお願いいたします。



みとせのハロバ
校舎内に「Trick or Treat」とかわいい声が響き渡ります。10/29 関小・針小の児童を招いて、ハロウィンパーティーを開催しました。カップケーキづくりに宝探し…小中のつながりが少しだけ深まった楽しい時間でした。

令和7年度12月行事予定

日	曜	活動内容等
1	月	安全点検
2	火	
3	水	1年・みとせ職場体験学習 学年集会 部×
4	木	3年三者面談
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	第Ⅲ期時間割
9	火	
10	水	2年修学旅行事前指導④学年学級の日部×
11	木	2年修学旅行
12	金	1年保護者会(スキー関係)部×
13	土	
14	日	
15	月	2年修学旅行振替休業日
16	火	2年生3時間目より登校
17	水	生徒集会 中委 部×
18	木	
19	金	スケアード・ストレイトによる交通安全教室
20	土	青少年中学生の主張大会(鶴コミ)
21	日	
22	月	4時間授業 給食最終日
23	火	短縮3時 大掃除
24	水	終業式 ふれあいデー 部×
25	木	冬季休業日(～1/7)
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	学校完全閉庁(～1/3)部×(～1/3)
30	火	
31	水	大晦日(2025年…おしまい)

■19金/スケアード・ストレイトとは、スタントマンにより、リアルに交通事故を再現し、その怖さや恐ろしさから交通安全意識を高めるものです。富士見市により実施され、地域や交通安全関係の方々も参観します。

■11～13日、2泊3日で2学年緑ジャは修学旅行に行きます。目的地は奈良・京都、オーバー・リズム・紅葉(温暖化の影響?)で12月初旬の京都は紅葉の真っ只中ですので大混雑が予想されます。

■今年度から旅費削減+京都の深い学びを目指して、タクシー行動を中止し、ツアーガイドを各班に配置し公共交通機関での京都巡りに変更しました。費用の方は昨年度より1万円近く削減されます。班研修ですが、タクシーより移動に時間がかかるので見学場所は1～2か所所なくなる可能性があります。しかし、ガイドさんが各班に1日中行きますので、●公共交通機関では最短、そして混まないルート選択(ある意味スマホ検索より強い)、●見学場所での丁寧な説明(裏話の多い京都ですからガイドブックやHPには載らない話が…?)、また昼食場所もガイドさんが安く、おいしい、京都らしい食事に案内してくれるかも…。

■初めての試みですので…是非とも成功させてほしいと思っています。

■3～5日の3日間、1年生とみとせの職場体験学習が実施されます。今年度から3日間の職場体験学習が実施されます。文科省の『中学生職場体験ガイド(制作協力者/堀川博基)』には「緊張の1日目、覚える2日目、慣れる3日目、考える4日目、感動の5日目」とあります。リアルな体験は長ければ長いほど効果が測定されています。この5日を3日に置き換える…「緊張と出会いの1日目、仕事に慣れる2日目、感動の3日目」となります。ぜひともリアルに「働くこと」を感じてください。

■この学習のために職場の方は時間と労力を君たちのために割いてくれています。そんな職場の方々にとどのような気持ちで接すればよいのか…君たちだったら考えられますか?

■保護者の皆様。お子様がどのような経験をされたか、ご家庭でも話を聞いてあげてください。そして励ましのひと言を…そのひと言がお子様にとっての「心のポートフォリオ」となります。また、飲食店での体験であれば、ぜひとも昼食を摂りつつお子様の様子を見に行ってください。ご家庭とはまったく違って様相の違う少し成長したお子さんを見ることができるとは思いますが、ただし、写真撮影等には十分な配慮をお願いします。

■20(土)の中学生の主張大会、中澤七海さん(2年生)が日頃の想いを訴えます…。

46人の仲間と…練習したこと…走り切ったこと…それが私たちの誇りです…埼玉駅伝富士見市予選 2025



実る激走! 女子A市内2位 男子A市内3位 男女B共に大健闘!

46人が3ヶ月あまりの練習に共に取組んだ…。何と言ってもこの事実こそが、西中駅伝チームの最大の誇りであり、達成感の源である。今年度は全生徒に参加を呼びかけた…そこで主体的に手を挙げてくれた(多分…きっと…)46人だ。もちろん陸上部が中心となるが、女バス、男バス、野球、サッカー等様々な部活の足に覚えのある者が、朝練や自らの部活練習終了後の駅伝練習に参加し続けてくれた…。そしてその中に「赤ジャ」の多いこと…。部活動を引退した3年生の努力は、駅伝へのチームとしての気持ちを大きく高ぶらせる…。結果として『女子Aチーム市内2位』『女子Bチーム市内8位』『男子Aチーム市内3位』『男子Bチーム市内8位』という好成績を上げてくれた。よく頑張った…。選手だけではなく…選考に漏れたメンバーも練習や当日のマネージャーとして走者を支えていた。駅伝はチームワーク…これをしっかりと証明してくれた。西中駅伝チーム、本当にお疲れ様でした…。

46人がエントリーしてくれたこと…、長い練習をやり切ったこと…、走って走って走り抜いたこと…、そんなことすべてがこの駅伝の一番の誇りだと思う…。よく頑張りました…。

■冬休み、特に12/27～1/4までは、学校がほぼ完全閉庁となります(部活動の完全停止12/29～1/3)。学校への連絡はつながりませんが、緊急事態の場合は「富士見市役所(049-251-2711)」→学校教育課へ経由して連絡をお願いします。

西中の電話対応について(再確認)

上記冬季休業中との対応とも絡みますが、西中では以下のように電話対応を進めております。皆様にはご不便をおかけしますが、効率的業務、働き方改革等の観点からご協力をよろしくお願いいたします。

■休業日の電話対応
土日も含め休業日には電話対応はできません。

■課業日の電話対応
朝/7:30以降
夕/19:00まで

時間外の電話については、対応できません。また学校から時間外に電話することはありませんのでご理解とご協力をお願いいたします。翌日対応となりますがスクールLINE等を有効にご活用願います。緊急対応の場合は休業中と同様、市役所→学校教育課へ経由して連絡をお願いします。

多くの保護者のみなさんに来校いただきました…
1101土曜参観



どの学年も満員御礼!?参観者にあふれていました。土曜開催だけに男性の姿が目立ちました。

2025 新人戦県大会開幕 まずは…陸上卓球男子 悔いなき戦い!

9月の新人戦入間東部大会にて県大会出場枠を獲得した、男子ソフトテニス部、男子バレーボール部、卓球部男子、陸上部が出場する新人戦埼玉県大会が開幕した。県大会だ、一勝するのが至難の業だ…まずは二市一町の中学生の想いを背負っていることを意識し、自分に悔いのない挑戦をすることを意識してほしい。口火を切ったのは陸上部に卓球部…共に悔いなき試合ができたと思う。全力を尽くしたことに自信を持ってほしい。男テニ、男バレは11/4以降に試合が続く…。ベストパフォーマンスに期待する。

さあ、本当の意味で日頃の鍛錬が問われるのは、この先学総までの約8カ月間のだろう。新人戦で芽生えた「やる気」に8カ月いう長期間、水をやり続けることができるかどうか、学総での栄光に繋がってくるのだ…。学総への火付けは、もう切られている!

■陸上競技部県大会出場者

- 100m男子2年
- 男子200m
- 女子100mh

- 100m女子1年
- 男子砲丸投

■男子卓球

- 個人戦ダブルス
- 1回戦/シード
- 3回戦突破/加須市・騎西1-3
- 団体戦 1回戦完勝/深谷・豊里0-3
- 2回戦惜敗/坂戸・桜3-2

ペア 県ベスト16

- 2回戦突破/坂戸・桜 0-3
- 4回戦惜敗/狭山・中央3-0



卓球団体10/28上尾運動公園体育館

陸上10/8・9熊谷スポーツ文化公園

県16本とは、胸を張れる成績です!

本日(11/4)から始まります…■全校三者面談

令和6年度の全国不登校児童生徒数が発表された。合計で353,970人(小137,704人+中216,266人)と過去最多となった。割合は減少したものの、教育における大きな課題であるのは間違いない。西中においても不登校は課題だ。ここ3年間で減少にはあるものの今年度9月末現在で16人(昨年度9月末22人)いる。不登校の要因は個々により様々な理由が考えられるが…学校に対する価値観は多様になっている。学校に登校することが絶対ではない…が、いつ誰が不適応を起こしても不思議ではない事は我々も理解し、何とか学校が生徒にとって心地よい居場所となるよう努力を怠らない。三者面談も深い部分ではそのような意味合いを持つ。生徒が本当に充実した毎日を送るため三者で情報や気持ちの交流を図る大きな機会だ。ぜひとも生徒が主体となり自分の気持ちを大人にぶつけてほしい。中学校における三者面談は、生徒・保護者・教員がつながるチャンスだ!

■不登校定義…年間30日以上欠席(明確な病気や経済的理由等を含まない)

■西中の不登校状況/減少傾向にあるのはうれしいことです

R4年度末 人→R5年度末 人→R6年度末 人→R7年度末 ?人
9月末 人 9月末 人